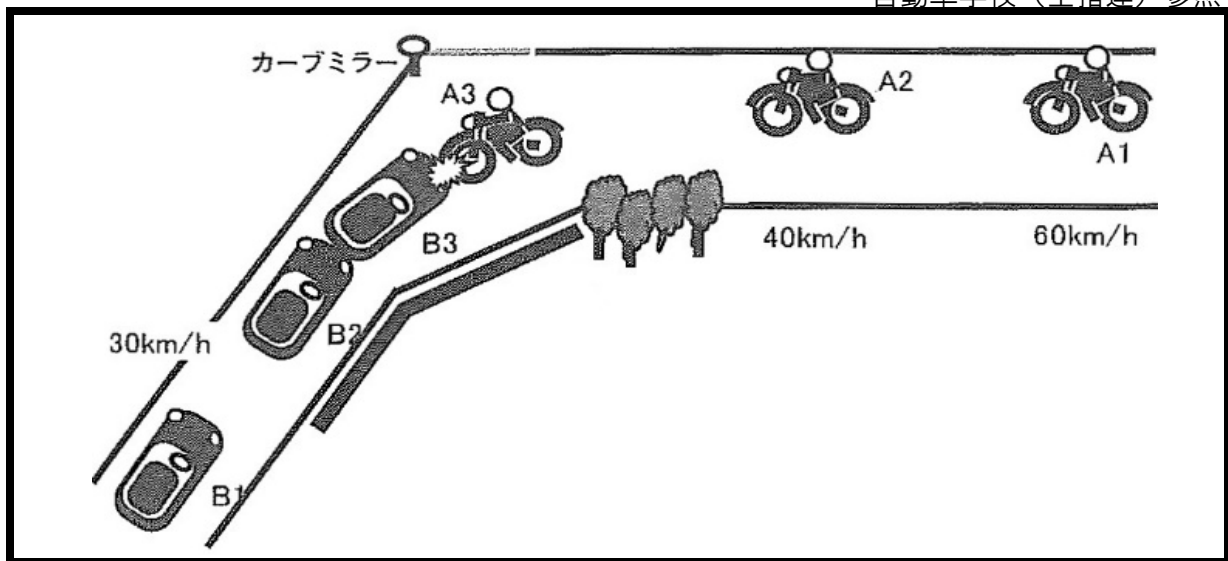


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：正面衝突

発生日時：2月 午後3時頃 晴れ

当事者A：バイク 30歳代 男性

当事者B：普通乗用車 50歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、時々通るセンターラインのない狭い道を時速約60kmで走行中、前方の見通しの悪いカーブに差しかかり、友人との待ち合わせのため急いでいたものの、念のため時速約40kmまで減速しました。交通量が少なく対向車は来ないと思い込み、道路中央よりを通行したところ、前方約40m先に対向のB車を発見し、ショートカット気味で走行していたこともあり衝突は避けられないと考え、急ブレーキをかけ転倒、滑走してB車と衝突しました。

Bは、毎日通る狭い道を走行中、カーブの見通しは悪いが、前方のカーブミラーに対向車のA車が見えたので時速約30kmまで減速しました。A車が左右にグラグラしながら向かってくるのを発見し停止しようと更にブレーキを踏み、停止したところへ、転倒したA車が衝突してきました。

■ 事故から学ぶ

今回の事故は、Aが見通しの悪いカーブにもかかわらず、十分な減速もせず道路の中央寄りを走行したのが原因です。いつも車が来ないからと油断したのでしょうか、何かがいとも違うから事故が起きるのです。

常に初心に帰り一つひとつ確実に確認し安全運転を心がけましょう。